

# 祈りによらなければ マルコの福音書 9:14~29

## 1. 問題に対する無力

- (1) 九人の弟子たち  
苦しむ子どもを救うことができない
- (2) 律法学者の勝ち誇ったあざけり  
弟子たちと論じ合う
- (3) キリストに対する父親の無知  
もしあなたにそれができるなら

## 2. 無力さの原因

- (1) 自信(錯覚) 過去の経験から
- (2) 祈らずに 「電源」につながない  
祈り ≠ 瞑想  
祈り = 神との会話
- (3) 不信仰 「もしできるなら」  
「大きな信仰」ではなく「大きな神への信頼」  
FAITH  
「Fantastic Adventure In Trusting Him (ビル・ブライト)」

### ヨハネ15:5

人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。



ビル・ブライト

## 3. 問題の解決

- (1) キリストのもとに問題を持っていく  
「私には何もできないが、主には何でもできる」(稲葉寛郎氏)
- (2) 山に向かって「海の中に入れ」と命じる  
アイリーン・ウェブスター・スミス女史  
日の出女兒院創設(大正~昭和)  
御茶ノ水クリスチャンセンター創設
- (3) 信じるのが鍵  
「主よ、信仰のない私をお助けください」(新共同訳)



アイリーン・W・スミス

### 新聖歌 35

告げよ 主に  
告げよ 今  
内にある悩みを  
御恵みに富める主は  
聞きたまわん 親しく  
主のもとに降ろせ  
汝が重き荷のすべてを  
御恵みに富める主は  
取りたまわん 残らず



稲葉寛夫氏

# 福音メッセージ 祈りによらなければ

マルコの福音書 9 章 14 節～29 節 【新改訳改訂第3版】

- 14 さて、彼らが、弟子たちのところに帰って来て、見ると、その回りに大ぜいの人の群れがおり、また、律法学者たちが弟子たちと論じ合っていた。
- 15 そしてすぐ、群衆はみな、イエスを見ると驚き、走り寄って来て、あいさつをした。
- 16 イエスは彼らに、「あなたがたは弟子たちと何を議論しているのですか」と聞かれた。
- 17 すると群衆のひとりが、イエスに答えて言った。「先生。口をきけなくする霊につかれた私の息子を、先生のところに連れて来ました。
- 18 その霊が息子にとりつくと、所かまわず彼を押し倒します。そして彼はあわを吹き、歯ぎしりして、からだをこわばらせます。それでお弟子たちに、霊を追い出すよう願ったのですが、できませんでした。」
- 19 イエスは答えて言われた。「ああ、不信仰な世だ。いつまであなたがたといっしょにいなければならないのでしょうか。いつまであなたがたにがまんしていなければならぬのでしょうか。その子をわたしのところに連れて来なさい。」
- 20 そこで、人々はイエスのところにその子を連れて来た。その子がイエスを見ると、霊はすぐに彼をひきつけさせたので、彼は地面に倒れ、あわを吹きながら、ころげ回った。
- 21 イエスはその子の父親に尋ねられた。「この子がこんなになってから、どのくらいになりますか。」父親は言った。「幼い時からです。
- 22 この霊は、彼を滅ぼそうとして、何度も火の中や水の中に投げ込みました。ただ、もし、おできになるものなら、私たちをあわれんで、お助けください。」
- 23 するとイエスは言われた。「できるものなら、と言うのか。信じる者には、どんなことでもできるのです。」
- 24 するとすぐに、その子の父は叫んで言った。「信じます。不信仰な私をお助けください。」
- 25 イエスは、群衆が駆けつけるのをご覧になると、汚れた霊をしかって言われた。「口をきけなくし、耳を聞こえなくする霊。わたしがおまえに命じる。この子から出て行け。二度とこの子に入るな。」
- 26 するとその霊は、叫び声をあげ、その子を激しくひきつけさせて、出て行った。するとその子が死人のようになったので、多くの人々は、「この子は死んでしまった」と言った。
- 27 しかし、イエスは、彼の手を取って起こされた。するとその子は立ち上がった。
- 28 イエスが家に入られると、弟子たちがそっとイエスに尋ねた。「どうしてでしょう。私たちには追い出せなかったのですが。」
- 29 すると、イエスは言われた。「この種のものは、祈りによらなければ、何によっても追い出せるものではありません。」